・兎とカマドの話……これも湯ノ沢の松の木にかかわる話であるが「笑話」のたぐいである。

昔、二人の物知りがおった。その一人が「あの松の木に兎の巣がある」といったら他の一人は「そんな馬鹿げた話はない」と反論。もし事実ならば「俺のカマド（全財産）を全部やる」と言ったという。さて、二人でその木へ行ってみたら、兎の巣などはなく、あったのは「鵜」と「鷺」の巣（ウサギ＝兎）があったと。他の一人はくやしがり、カマドを取られるのは、もったいないといろいろ思案の末、鎌と砥石をやったという。